

遠賀川流域活動報告

第37回 遠賀川川下り大会

「遠賀川川下り大会」が7月31日(日)に行われ、色鮮やかに装飾された手作りのイカダや舟が夏の遠賀川の川面を彩りました。この大会は、遠賀川の環境に関心を持ってもらい、少しでも遠賀川がきれいになれば、との思いから始まり、今年で37回目を迎えました。

夏の風物詩として親しまれてきた大会ですが、出場チームの減少で、今回は最後の大会になりました。選手達は、運営をしてきた実行委員会や遠賀川に感謝の言葉を贈り、惜しみつつ最後のイカダレースに挑戦しました。



32チーム、348人が参加し、8時30分に飯塚市芳雄橋を出発し、約21km先のゴール地点の直方市菜ノ花大橋を目指しました。

11時頃からゴール地点に舟が到着しましたが、途中で安定性がなくなり転覆したり、なかなか進まず、時間オーバーとなり、リタイヤしたチームもありました。

今大会まで運営された実行委員会のみさん、本当におつかれさまでした。



前に進めているのでしょうか...

ゴミを拾いながら、参加してくれました

実行委員会棟形会長に 遠賀川河川事務所のボートは感謝を込めて花束が 沈没してしまいました... 贈られました

第13回 遠賀川カヌー駅伝大会

7月31日(日)、飯塚市太郎丸 穂波川の楽市橋～天道橋の間で「第13回 遠賀川カヌー駅伝大会」が開催されました。カヌーを通じて、遠賀川を川面から体感してもらい、競技終了後には水質調査及び清掃活動を行い、河川環境の現状を認識してもらうとともに、河川環境改善のための啓発を行う事を目的に飯塚川づきあい交流会が主催しています。

だいぶカヌークラブの子供たちとその家族、飯塚市主催カヌー教室参加者、遠賀川で清掃活動をしている方々の9チームが参加しました。

大会は天候にも恵まれる中、一周約500mのコースを各チーム5人の駅伝方式で行われました。各チームの声援が飛び交う白熱した大会が繰り広げられ、スタートから20分程で全チーム転覆することなく、無事にゴールすることができました。

閉会式の後には、大会参加者全員で水質試験・ゴミ拾いを行い、川をきれいにする事の大切さを学びました。



子供も大人も真剣勝負！

大会後は水質試験とゴミ拾いを行いました

いきいき子ども講座（寺子屋）

7月23日(土)、笹尾川芝谷橋付近の笹尾川水辺の楽校で『いきいき子ども講座（寺子屋）』が開催されました。このイベントは、楠橋、池田市民センターが主催、笹尾川水辺の楽校運営協議会が後援し、子どもたちが楽しく水の大切さを学んでもらうことを目的に開催しています。

子どもたちは、カヌー、水質検査など体験しました。笹尾川水辺の楽校運営協議会の皆さんがコーチとなってカヌーの乗り方を指導されていました。また、水質検査では、北九州市水質試験場の職員が指導して、笹尾川と畑ダム貯水池の水質の比較を行いました。また、貯水池の水に醤油を少しだけ垂らして、水質がどれくらい変わってしまうのかを学びました。

参加した子どもたちにとって、楽しい夏休みの1日となったことでしょう。



めだかの学校

7月23日(土)、香春町呉ダム溪流公園で『めだかの学校』が、金辺川を楽しむ会の主催で開催されました。香春町の自然に親しんでもらい、川をきれいにすることの大切さを伝えることを目的に開催されています。

当日は、好天に恵まれ、子どもたちは、パックテストによる水質調査と、生き物調査を行いました。

子どもたちは水の中で真剣に魚や生きものを見つけていました。残念ながら魚や水生生物は、あまり見つけることができませんでしたが、サワガニがたくさんいました。子どもたちは大喜びでサワガニを見つけていました。

呉ダム溪流公園での生き物調査終了後は、なごみの社かわらで、どんな生物を見つけたのかを学びました。

参加した子どもたちからは、「きれいな川に棲むサワガニをたくさん見つけることができてよかった」などの感想を聞くことができました。



遠賀川リバーチャレンジスクール88 第15回サマースクール

7月23日(土)、24(日)の2日間、遠賀川地域防災施設「遠賀川水辺館」で『遠賀川リバーチャレンジスクール88 第15回サマースクール』が開催され、46人の子どもたちが参加しました。

このイベントは、小学4～6年生を対象に体験活動を通じて川遊びの楽しさや水の怖さ、自然環境について、楽しく学んでもらうことを目的に、「直方川づくり交流会」が開催しています。

1日目は、遠賀川で「カヌー・Eボート体験」「水中たんけん」にチャレンジしました。子どもたちは元気に川遊びを楽しんでいました。また、「知っとる？ 防災」では、洪水がどのようにして起こるか、などを学びました。

2日目は、「水辺の生き物調べ」「魚釣り」を体験し、河川環境について学びました。

最後に、参加した子供たちは、2日間の感想を俳句で表現しました。今回の体験がとても楽しかったことが伝わってきました。



○夏休み サマースクールで 大はしゃぎ ○おんががわ たのしかったな またくるね



遠賀川源流の森づくり 下草刈り

7月24日(日)、遠賀川源流近くの馬見山で『遠賀川源流の森づくり 下草刈り』が開催されました。

活動をはじめて20年を迎えた主催の「遠賀川源流の森づくり推進会議」森会長は、「若い高校生の方々をはじめ、たくさんの皆さんに参加していただき、遠賀川の源流を大事に思っていることに感謝します」とあいさつされました。参加者は、各作業場所で以前に植樹した木の周辺で鎌を使って草を刈っていきました。

参加者は、「地元の高校生や北九州市からも大勢の方が参加しているのでびっくりしました」「草を刈る鎌は大きく力がいりました。草を刈った後は木々が大きく見えさっぱりとした風景が気持ちよかったです」と話されていました。



水辺で乾杯！2016 in 遠賀川

7月7日(木) 午後7時7分のタナバタイムに、全国 200 箇所以上で『水辺で乾杯！』が開催されました。
この催しは、7月7日午後7時7分に世界中の水辺で同時に乾杯することで、身近な水辺で何ができるのか、何ができそうかをイメージし、水辺の活性化に繋げていこうとする企画です。
遠賀川流域でも水辺のにぎわいづくりや河川環境を話し合うきっかけにと、8箇所で開催されました。



◆ ミズベリングとは

ミズベリングは「水辺+RING(輪)」、「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語。
水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と新しい賑わいを生み出すムーブメントを、つぎつぎと起こしていきます。

水辺で乾杯アクション 5カ条

- 1 事前に水辺を感じられる、
それっぽい場所を選んでおきましょう。
- 2 青い物を身につけるなどの粋な趣向が
それなりの一体感を作ります。
- 3 お気に入りの一品を持って水辺に集まる
不思議な感じを味わいましょう。
- 4 長居はせず滞在は30分程度として、
原状回復し速やかに退去しましょう。
- 5 そのまま帰るのは淋しいので、
場所を変えて飲むのもいいでしょう。



九州河川協力団体のみなさんが、
水辺ごとに文字を一枚だけ掲げて
撮影しています。
(遠賀川流域では4箇所)
これをつなげると・・・



九州の水辺のつながりが感じられます★

①中間市役所世界遺産推進室

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産「遠賀川水源地ポンプ室」の眺望スペースで、日本の近代化を支えた遠賀川に乾杯！



③笹尾川水辺の楽校運営協議会

笹尾川水辺の楽校で乾杯！！
ここで一句、『ミズベリング 天まで届け 夏帽子』



⑤直方川づくり 交流会

筑豊の名峰福智山をバックに、滔々と流れる遠賀川を眺めて乾杯！



⑦田川ふるさと川づくり交流会

彦山川の恵みで乾杯！



②中島自然再生協議会

母なる遠賀川の中島で水辺の美しさや大切さを実感しながら、川面に沈む夕日を背に「乾杯」！



④植木大銀杏川 づくりの会

江戸時代に石炭を運搬していた五平太船の先頭たちが、目印にしていた名木(犬鳴川の堤防にそびえたつ樹齢 1000 年(推定)の大いちょう)と一緒に乾杯！！



⑥嘉穂水辺の楽校周辺の環境を守る会

筑豊アルプスをバックに乾杯！！



⑧堀川再生 の会・五平太

日本で2ヶ所しかない極小の飲み屋街をバックに、日本の近代化を支えた「遠賀堀川」、高倉健さんが通学した「遠賀堀川」で乾杯！



8月～9月の水辺のイベント情報

※各イベント名の前に付いている番号は、次ページの地図に表示のイベントを示しています。

事前申込が必要なイベントがあります。また、天候により開催日が変わることがありますので、お問い合わせ先にご確認ください。

①夏休みだ！水辺で遊ぼう

8月21日(日)

概要：夏休み最後の思い出と宿題を兼ねて、“夏休みだ！水辺で遊ぼう”を開催します。カヌーに乗ってみよう！、笹尾川の自然で遊ぼう！、きれいな水をつくってみよう！を体験します。

会場：八幡西区楠橋芝谷橋下

笹尾川水辺の楽校

主催：笹尾川水辺の楽校運営協議会

tel.093-641-5948

(北九州市上下水道局水質試験所内)

②「今川」川探検

9月10日(土)

概要：添田町の貴重な清流に触れる事をテーマに、添田町の今川で子供と大人と一緒に川で遊び、川の生物を学び、清掃活動を行います。

会場：福岡県田川郡添田町津野

主催：アカザを守る会

tel.090-2965-8081

③芦屋・若松海岸クリーン

キャンペーン 9月11日(日)

概要：遠賀川に何気なく捨てられたゴミが河口堰や芦屋・若松海岸に流れつき、地元住民の方に大変迷惑をかけています。遠賀川流域の住民みんなが毎年500人規模で開催し、芦屋町に集い清掃活動を行います。

会場：芦屋町柏原漁港

主催：NPO 法人遠賀川流域住民の会

tel.0948-22-3535

④遠賀川源流の森再生応援団

9月18日(日)

概要：放置された竹林を伐採して、竹炭を作り、竹炭を使って水の浄化を行う取り組みです。毎年、流域住民をはじめ、地元の高校生・大学生ら若者達も応援参加します。

会場：嘉麻市千手 長野地区

主催：NPO 法人遠賀川流域住民の会

tel.0948-22-3535

⑤第8回 彦山川パーロン大会

9月18日(日)

概要：大型ゴムボートで短距離レースを楽しみ遊ぶことで、川に親しみ広く河川愛護、河川環境向上を目指しています。

会場：田川市糺 彦山川高柳堰周辺

主催：彦山川パーロン大会実行委員会

tel.090-8666-3600(棟形)

⑥小竹ひがん花まつり2016

9月18日(日)

概要：河川敷のクリーンキャンペーンを始め、カヌー体験や雑貨市など遠賀川河川公園の開園を記念して行う今年で4回目となるひがん花まつりは、内容盛りだくさんです！

ぜひご家族で足をお運び下さい！

会場：小竹町役場前遠賀川河川敷

主催：NPO法人

「小竹に住みたい」まちづくりの会」

小竹町

tel.09496-2-1214

(まちづくり政策課)



遠賀川 水辺のイベント (8月~9月)

季節の花

ひまわり (7~8月)

彼岸花 (9月)

コスモス (9~10月)

自然 (山・滝等)

多種

①~⑥水辺のイベント

水辺の施設

親水公園

名水

都道府県立自然公園

国定公園

サイクリングロード

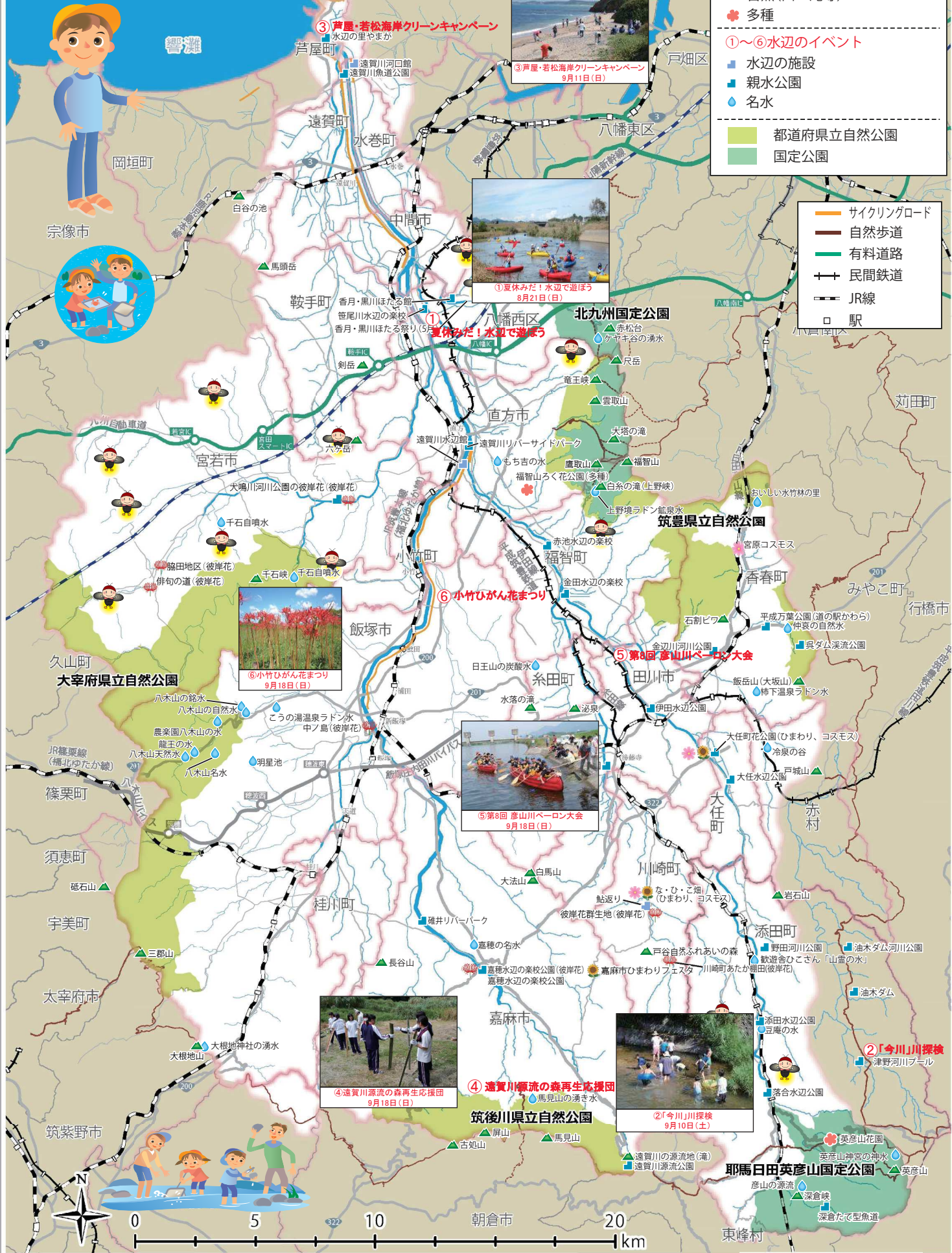
自然歩道

有料道路

民間鉄道

JR線

駅



第16回九州「川」のワークショップ in 遠賀川
～川で遊び 川に学び そして世界へ～
テーマ「川の力～次世代への継承～」

今回、北九州市を会場として、第16回九州「川」のワークショップが開催されます。

九州「川」のワークショップとは、

九州各地の河川流域で活動している団体・学校・行政・企業などが一堂に会し、各々の活動や取り組み状況（自然環境保護、防災、地域づくり等）の発表を通して、意見交換や情報共有を行い、“いい川づくりとはなにか”など、よりよい水環境を育むとともに防災意識の向上をみんなで一緒に検討する場です。また、官・学・民の交流を行い、次世代を担う人材の育成と流域連携の促進を目指します。

問合せ・応募申し込み等については、下記の HP をご確認ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

千早川系紙

川が作る生活にも影響を与え、川の力に学び、育れる川を次世代に継承する。

第16回(2016)

九州「川」のワークショップ

in 遠賀川

～川で遊び 川に学ぶ
そして世界へ～



景色の音声

遠川の川音（遠賀川からの流水声）にあるが、耳から「聞ける」。遠賀川からの水音を流して会場に入る。我々も水音を聴きし。（写真提供：『遠賀』8年度）

◆開催日：平成28年 **11月12日(土) 13:00～18:00**
11月13日(日) 9:30～12:30

◆会 場：**黒崎びびしんホール**（福岡県北九州市八幡西区岸の浦2-1-1）

11月12日(土)	12:00	受付開始
	13:00	オープニング ・北九州市消防音楽隊による演奏
	13:15	開会
	13:30	スーパースター(子どもの部・中学生まで)、大人の部 子ども部発表(10:00頃) ・ステージ発表終了(18:00頃)
		↓移動(マイクバス<無料>送迎)
11月13日(日)	19:00	交流会(意見交換の場) ・会場：アートテラクラブ
	9:00	開館時間
	9:30	アビールタイム(大人の部) ・アビールタイム終了(10:10頃) ・観覧投票は10時20分以降密切ります。
	10:20	講演①、講演② ・講演終了(11:50頃)
	12:00	閉会式(賞状・表彰・次回引継)
	12:30	12時30分開演終了
	13:30	船川見学(自由参加)



JR新幹線より徒歩約10分

①→② 国道3号東進路約20分
(マイクバス(無料)による送迎)

最寄りJR大塚一丁目駅

最寄りバス停

会場

会場周辺地図

主催：第16回九州「川」のワークショップ in 遠賀川実行委員会
共催：ネットワーク九州流域連携会議、北九州市
後援：国日本経済省九州地方整備局・福岡県、遠賀川流域内20市町村[※]、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、日本経済新聞社北九州支局、時事通信社、一般社団法人 共同通信社、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送、九州工業大学、福岡県立大学、北九州市立大学、元健大卒 産業理工学部、九州国立大学

※関係機関(国・道・府・市等)は、以下のとおりです。
 宮崎市、藤島市、田川市、中津川市、久留米市、嘉穂市、井原町、水巻町、篠栗町、瀬峰町、小竹町、美里町、埴山町、香春町、赤松町、三好町、大丘町、桂木町、大任町、糟屋郡、豊前市

第16回 九州「川」のワークショップ

～川で遊び 川に学び、そして世界へ～

発表参加者・見学参加者募集

◆発表参加対象

九州の川や川沿いで活動する団体（住居施設・学校・企業など）
（応じにより申し込みが必要です）

◆見学参加対象

河川の活動に関心のある団体や個人
（見学希望申し込み不要です）

◆活動発表の方法

子どもの部：ステージ発表のみ（中学生まで）
大人の部：ステージ発表（1日版）とアピールタイム（2日版）

11/12（土）「ステージ発表」

- ◆発表数（全体750団体）
- ◆子どもの部：10団体程度
- ◆大人の部：40団体程度
- ◆発表時間、内容（安全、応用、活用、川づくりなど）
- ◆発表時間：3分
- ◆発表方法
- ・歌謡、人形劇、歌、踊りやパフォーマンスを使った発表など自由です。
- ・パフォーマンスはアニメーションなしの5分以内です。
- ◆その他
- ・子どもの部のステージ発表終了後、発表に参加した子どもにもよる交流会を開催。
- ・子どもの部の発表は12月17日潮に行方。

11/13（日）「アピールタイム（大人の部ののみ）」

前日のステージ発表で伝えきれなかった深い内容や内
容やバリエーション、質問などを使って活動をアピール
し、参加者間で情報交換します。

- ◆アピール時間：4分
- ◆表示、冊子物について
- ・1団体あたり1冊の表示スペースは約120cm×120cmです。
生活や遊び、土を遊ぶ等の持込はご遠慮ください。
- ◆会場の結核時間
- ・観覧時間の朝9時前には、黒瀬びびんホールに入る
ことは出来ません。
- ◆連絡川コーナー
- ・実行委員会・国土保全国・河川協議会、関係団体
も設けられます。

◆選好投票

2日間の発表や意見交換を踏まえ、「1番お気に入り」の団体
に、参加者全員が投票します。（投票は所属以外の団体）
※参加者や順位を決めるものではありません。

◆講演（講師紹介）

講演1：ミズベリプロジェクト事務局プロデューサー 山本義典氏
かつての仲間を失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を
開拓してミズベリプロジェクトの全盛の動きを語る。

講演2：国土交通省 水管理・国土保全国 河川協議会 関係団体 田中重臣氏
ミズベリプロジェクトをめぐり、全国の動きや行政の立場から話を聞か

◆発表参加の申し込み方法

◆参加費

◆問合せ・応募申込書送付先

◆宿泊について

◆11/12 交流会（19:00～21:00）

◆11/13 抽籤見学（自由参加）

九州の川や川沿いで活動する団体（住居施設・学校・企業など）
（応じにより申し込みが必要）

河川の活動に関心のある団体や個人
（見学希望申し込み不要）

子どもの部：ステージ発表のみ（中学生まで）
大人の部：ステージ発表（1日版）とアピールタイム（2日版）

11/12（土）「ステージ発表」

- ◆発表数（全体750団体）
- ◆子どもの部：10団体程度
- ◆大人の部：40団体程度
- ◆発表時間、内容（安全、応用、活用、川づくりなど）
- ◆発表時間：3分
- ◆発表方法
- ・歌謡、人形劇、歌、踊りやパフォーマンスを使った発表など自由です。
- ・パフォーマンスはアニメーションなしの5分以内です。
- ◆その他
- ・子どもの部のステージ発表終了後、発表に参加した子どもにもよる交流会を開催。
- ・子どもの部の発表は12月17日潮に行方。

11/13（日）「アピールタイム（大人の部ののみ）」

前日のステージ発表で伝えきれなかった深い内容や内
容やバリエーション、質問などを使って活動をアピール
し、参加者間で情報交換します。

- ◆アピール時間：4分
- ◆表示、冊子物について
- ・1団体あたり1冊の表示スペースは約120cm×120cmです。
生活や遊び、土を遊ぶ等の持込はご遠慮ください。
- ◆会場の結核時間
- ・観覧時間の朝9時前には、黒瀬びびんホールに入る
ことは出来ません。
- ◆連絡川コーナー
- ・実行委員会・国土保全国・河川協議会、関係団体
も設けられます。

◆選好投票

2日間の発表や意見交換を踏まえ、「1番お気に入り」の団体
に、参加者全員が投票します。（投票は所属以外の団体）
※参加者や順位を決めるものではありません。

◆講演（講師紹介）

講演1：ミズベリプロジェクト事務局プロデューサー 山本義典氏
かつての仲間を失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を
開拓してミズベリプロジェクトの全盛の動きを語る。

講演2：国土交通省 水管理・国土保全国 河川協議会 関係団体 田中重臣氏
ミズベリプロジェクトをめぐり、全国の動きや行政の立場から話を聞か

◆発表参加の申し込み方法

◆参加費

◆問合せ・応募申込書送付先

◆宿泊について

◆11/12 交流会（19:00～21:00）

◆11/13 抽籤見学（自由参加）

九州の川や川沿いで活動する団体（住居施設・学校・企業など）
（応じにより申し込みが必要）

河川の活動に関心のある団体や個人
（見学希望申し込み不要）

子どもの部：ステージ発表のみ（中学生まで）
大人の部：ステージ発表（1日版）とアピールタイム（2日版）

11/12（土）「ステージ発表」

- ◆発表数（全体750団体）
- ◆子どもの部：10団体程度
- ◆大人の部：40団体程度
- ◆発表時間、内容（安全、応用、活用、川づくりなど）
- ◆発表時間：3分
- ◆発表方法
- ・歌謡、人形劇、歌、踊りやパフォーマンスを使った発表など自由です。
- ・パフォーマンスはアニメーションなしの5分以内です。
- ◆その他
- ・子どもの部のステージ発表終了後、発表に参加した子どもにもよる交流会を開催。
- ・子どもの部の発表は12月17日潮に行方。

11/13（日）「アピールタイム（大人の部ののみ）」

前日のステージ発表で伝えきれなかった深い内容や内
容やバリエーション、質問などを使って活動をアピール
し、参加者間で情報交換します。

- ◆アピール時間：4分
- ◆表示、冊子物について
- ・1団体あたり1冊の表示スペースは約120cm×120cmです。
生活や遊び、土を遊ぶ等の持込はご遠慮ください。
- ◆会場の結核時間
- ・観覧時間の朝9時前には、黒瀬びびんホールに入る
ことは出来ません。
- ◆連絡川コーナー
- ・実行委員会・国土保全国・河川協議会、関係団体
も設けられます。

◆選好投票

2日間の発表や意見交換を踏まえ、「1番お気に入り」の団体
に、参加者全員が投票します。（投票は所属以外の団体）
※参加者や順位を決めるものではありません。

◆講演（講師紹介）

講演1：ミズベリプロジェクト事務局プロデューサー 山本義典氏
かつての仲間を失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を
開拓してミズベリプロジェクトの全盛の動きを語る。

講演2：国土交通省 水管理・国土保全国 河川協議会 関係団体 田中重臣氏
ミズベリプロジェクトをめぐり、全国の動きや行政の立場から話を聞か

◆発表参加の申し込み方法

◆参加費

◆問合せ・応募申込書送付先

◆宿泊について

◆11/12 交流会（19:00～21:00）

◆11/13 抽籤見学（自由参加）

九州の川や川沿いで活動する団体（住居施設・学校・企業など）
（応じにより申し込みが必要）

河川の活動に関心のある団体や個人
（見学希望申し込み不要）

子どもの部：ステージ発表のみ（中学生まで）
大人の部：ステージ発表（1日版）とアピールタイム（2日版）

11/12（土）「ステージ発表」

- ◆発表数（全体750団体）
- ◆子どもの部：10団体程度
- ◆大人の部：40団体程度
- ◆発表時間、内容（安全、応用、活用、川づくりなど）
- ◆発表時間：3分
- ◆発表方法
- ・歌謡、人形劇、歌、踊りやパフォーマンスを使った発表など自由です。
- ・パフォーマンスはアニメーションなしの5分以内です。
- ◆その他
- ・子どもの部のステージ発表終了後、発表に参加した子どもにもよる交流会を開催。
- ・子どもの部の発表は12月17日潮に行方。

11/13（日）「アピールタイム（大人の部ののみ）」

前日のステージ発表で伝えきれなかった深い内容や内
容やバリエーション、質問などを使って活動をアピール
し、参加者間で情報交換します。

- ◆アピール時間：4分
- ◆表示、冊子物について
- ・1団体あたり1冊の表示スペースは約120cm×120cmです。
生活や遊び、土を遊ぶ等の持込はご遠慮ください。
- ◆会場の結核時間
- ・観覧時間の朝9時前には、黒瀬びびんホールに入る
ことは出来ません。
- ◆連絡川コーナー
- ・実行委員会・国土保全国・河川協議会、関係団体
も設けられます。

◆選好投票

2日間の発表や意見交換を踏まえ、「1番お気に入り」の団体
に、参加者全員が投票します。（投票は所属以外の団体）
※参加者や順位を決めるものではありません。

◆講演（講師紹介）

講演1：ミズベリプロジェクト事務局プロデューサー 山本義典氏
かつての仲間を失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を
開拓してミズベリプロジェクトの全盛の動きを語る。

講演2：国土交通省 水管理・国土保全国 河川協議会 関係団体 田中重臣氏
ミズベリプロジェクトをめぐり、全国の動きや行政の立場から話を聞か

◆発表参加の申し込み方法

◆参加費

◆問合せ・応募申込書送付先

◆宿泊について

◆11/12 交流会（19:00～21:00）

◆11/13 抽籤見学（自由参加）

九州の川や川沿いで活動する団体（住居施設・学校・企業など）
（応じにより申し込みが必要）

河川の活動に関心のある団体や個人
（見学希望申し込み不要）

子どもの部：ステージ発表のみ（中学生まで）
大人の部：ステージ発表（1日版）とアピールタイム（2日版）

11/12（土）「ステージ発表」

- ◆発表数（全体750団体）
- ◆子どもの部：10団体程度
- ◆大人の部：40団体程度
- ◆発表時間、内容（安全、応用、活用、川づくりなど）
- ◆発表時間：3分
- ◆発表方法
- ・歌謡、人形劇、歌、踊りやパフォーマンスを使った発表など自由です。
- ・パフォーマンスはアニメーションなしの5分以内です。
- ◆その他
- ・子どもの部のステージ発表終了後、発表に参加した子どもにもよる交流会を開催。
- ・子どもの部の発表は12月17日潮に行方。

11/13（日）「アピールタイム（大人の部ののみ）」

前日のステージ発表で伝えきれなかった深い内容や内
容やバリエーション、質問などを使って活動をアピール
し、参加者間で情報交換します。

- ◆アピール時間：4分
- ◆表示、冊子物について
- ・1団体あたり1冊の表示スペースは約120cm×120cmです。
生活や遊び、土を遊ぶ等の持込はご遠慮ください。
- ◆会場の結核時間
- ・観覧時間の朝9時前には、黒瀬びびんホールに入る
ことは出来ません。
- ◆連絡川コーナー
- ・実行委員会・国土保全国・河川協議会、関係団体
も設けられます。

◆選好投票

2日間の発表や意見交換を踏まえ、「1番お気に入り」の団体
に、参加者全員が投票します。（投票は所属以外の団体）
※参加者や順位を決めるものではありません。

◆講演（講師紹介）

講演1：ミズベリプロジェクト事務局プロデューサー 山本義典氏
かつての仲間を失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を
開拓してミズベリプロジェクトの全盛の動きを語る。

講演2：国土交通省 水管理・国土保全国 河川協議会 関係団体 田中重臣氏
ミズベリプロジェクトをめぐり、全国の動きや行政の立場から話を聞か

The diagram illustrates the relationship between the official website of the Fukuhara River Water Affairs Office and the Kyushu River Information Room. On the left, a blue box contains the text '遠賀川河川事務所ホームページ' and the URL 'http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/'. A blue arrow points from this box to a screenshot of the website. The website screenshot shows a navigation menu with '九州川' (Kyushu River) highlighted in a red dashed circle. Another blue arrow points from the website screenshot to a second blue box on the right, which contains the text '九州川の情報室' and the URL 'http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/kawa-guide/'. To the right of this second box is a screenshot of the '九州川の情報室' website, where the '九州川' link in the top navigation bar is also highlighted with a red dashed circle.

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀1丁目1-1
電話 0949-22-1830
FAX 0949-22-2859
HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 0948-22-3535
<http://www.ongagawa.jp/>